

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

3月定例会では13人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※3月定例会の会議録は6月に発行予定です。



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

介護支援

介助支援・介護ケアの ロボット導入支援について

江川直一
(公明党)

介助支援での実用化が進んでいる介護ロボットや介護ケアで効果を上げているコミュニケーションロボットの必要性や有用性が注目されている。厚生労働省は、介護報酬で評価することや、夜間業務の効率化のため見守り機器を導入し、サービスを効果的に提供できるよう強化していく方針を示している。

市内事業者に送付した。介護現場で働く方の疾病の6割以上が腰痛である。コルセット等の購入補助の考えはあるか。

購入補助を行う予定はないが、事業者へ様々な情報提供を行うなど、介護の仕事の魅力向上、人材確保を支援していく。

●倒壊家屋の放置解消
倒壊家屋の放置解消について年間1件を目標とし、具体的に取り組むべきと考える。倒壊家屋の件数とその苦情件数は、

倒壊家屋は6件、苦情は21件で、複数の苦情がある倒壊家屋は2件。

特定空家に指定した件数及び固定資産税の優遇措置を適用除外とした件数は、

いずれも0件である。相続財産管理制度の活用や税法上の対応などの考えは、

今後調査研究を行う。

今後調査研究を行う。

今後調査研究を行う。

防災行政

防災を重視した無電柱化の 推進について

香川 宏行
(新政策研究会)

無電柱化の推進に関する法律の公布を受け、地方公共団体の責務について、本市の考えは、

安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成等の観点から無電柱化の推進は重要な責務であり、国及び埼玉県の計画を踏まえて本市でも無電柱化計画を策定していかなければならないと考えている。

現在、国においては計画の策定に向けてパブリックコメントを実施している状況であり、県においては、計画の策定に未着手という状況である。

引き続き、国、県の動向を注視し、情報収集に努めていく。

防災の観点から無電柱化をどう捉えているか。

大規模災害発生の際、電柱の倒壊により、道路が寸断され、避難及び緊急車両の通行、物資の輸送等の妨げとなるおそれがあるため、防災、減災の観点からも無電柱化は有効な手段であると認識している。

●観光行政
ドラマ「陸王」放送により、本市の名前が全国に広まり、放送終了後も多くの観光客が訪れている。これを一過性で終わらせないように、今後、さらなる賑わいの継続を図るための方策は、

SNSを活用した情報発信やロケ地巡りツアーの開催のほか、観光情報館「ぶらっどぎよっだ」において、ドラマで実際に使用した物品等の展示を行い、観光客の誘致を図ることで、賑わいの継続に努めている。今後とも商工会議所を初め、各店舗等の民間事業者や市民の皆様と協力し、まちの賑わいを継続していきたい。

引き続き、国、県の動向を注視し、情報収集に努めていく。

引き続き、国、県の動向を注視し、情報収集に努めていく。